

記載例

プルダウンから該当するものを選択。
現場代理人と主任技術者が異なる場合は、それぞれで経歴書を作成してください。

現場代理人・主任技術者 経歴書

資格を実務経験で対応する場合は、別紙の工事経歴書を作成してください。

1 氏名 長岡 太郎

2 資格 1級土木施工管理技士 第1234567号
実務経験10年以上（別紙のとおり）

3 職歴 昭和〇〇年〇〇月〇〇日（株）〇〇〇建設入社 現在に至る。

4 兼務工事

兼務している工事がある場合は、工事内容を記入してください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日現在、現場代理人として兼務している工事はあります。

令和〇〇年〇〇月〇〇日現在、主任技術者として兼務している工事はあります。

(1) 公下单東第〇〇号（工事番号） 公共下水道工事（工事名） R7.1.1～R7.3.31（工期）

請負金額 **** *円

(2) 道改第〇〇号（工事番号） 道路改良工事（工事名） R6.12.1～R7.2.20（工期）

請負金額 **** *円

上記のとおり相違ありません。

- ・ 契約日を記入
- ・ 施工時期選択工事の場合は、着手日を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名 長岡 太郎

記入にあたっては裏面の注意事項もご確認ください。

現場代理人・主任技術者についての注意事項

- 現場代理人は原則として他の工事との兼務はできません。
- 同一工事において同一人物が現場代理人と主任技術者を兼務することは可能です。
- 主任技術者は他の工事と兼務が可能です。但し、請負金額4,000万円以上の工事については主任技術者を専任で配置しなければなりません。専任の主任技術者は原則として他の工事と兼務はできません。
- 4,500万円(建築一式工事の場合は、7,000万円)以上を下請契約して工事を施工する場合は、監理技術者を専任で配置しなければなりません。専任の監理技術者は他の工事と兼務はできません。(監理技術者資格者証の表面、裏面を1枚にコピーして添付してください。)